



Obihiro Rotary Club

District 2500 Rotary International

No. 2861

第3179回例会

平成21年10月21日

2009-10年度 国際ロータリーのテーマ THE FUTURE OF ROTARY IS IN YOUR HANDS
(ロータリーの未来はあなたの手の中に)

方針 修練

会長 清水 茂彰

■プログラム

「ポリオとその撲滅のために」1



ポリオは、Poliomyelitis acuta、急性灰白髄炎のことです。この病気は、口から入ったポリオウイルスが腸管内で増殖し、咽頭分泌液や糞便とともに体外に排出されて次の宿主に感染する一方、体内に残ったウイルスは血行に乗って中枢神経、とりわけ脊髄前角細胞を冒し、神経の伝導を遮断することによって支配筋肉の麻痺をおこし、ひいてはスライドのごとくの足の変形と委縮などをおこします。小児麻痺という言葉が同義語に使われていますが、これは5歳以下の小児の罹患率が高いためで、大人にはおこらないというものではありません。フランクリン・ルーズベルトは39歳で発症しています。

臨床像は夏に多く、その90~95%は不顕性感染症で無症状に終わります。本人の知らないうちに感染が成立し免疫がつきます。4~8%は夏風邪様に一峰性に下痢や発熱を起こして不全型として終息します。1~2%は顕性例として2峰性の発熱を呈します。そのうち0.1~0.5%が麻痺を伴う最重症例となります。夏風症状の後第2波として40度に至る高熱が続き、解熱してやれやれと思ったら突然麻痺が出現するというものです。この典型例の中には麻痺が呼吸中枢に及び約7%が死にいたします。診断は麻痺が出現して初めてポリオとわかりますが、事前に分かったとしてもポリオに対する治療法はありません。問題なのは、このいかなる病形においても、たとえ症状がなく不顕性のものでも排菌は続き感染源となっているということです。

ポリオの記載は、古くは紀元前15世紀のエジプト王朝の石碑に右脚の萎縮した像として見られます。その後の記録としては、1840年にドイツに注意深い記述があり、1887年にスカンジナビアで44名の伝染例が報告されています。1907年オーストラリアで死亡患者の脊髄乳剤を猿に接種して発病が確認されました。1949年エンダースはポリオウイルスの組織培養に成功し、これによって大量のウイルスが入手できるようになり研究が飛躍的に進みました。そうこう言っているうちに1952年5万7879名にも及ぶアメリカの大流行が発生しました。一刻も猶予もないこの時、1958年にソーコによる不活化ワクチン、セーピンによる弱毒性ワクチンが開発されました。これに挑戦するかのように、1956年ソ連で大流行、ついに1960年日本での大流行が追い打ちをかけました。

日本におきましては、これにさかのぼること、1890年に最初のポリオ患者が報告されています。続いて1910年京阪神岡山での流行、1938年と1940年に阪神地方、1949年に八戸での

職業奉仕委員会
佐藤 幸宏 会員

流行が知られています。続いて1960年、日本のポリオ史上空前絶後の大流行が北海道夕張において爆発的に発生しました。この年の発病者は5606名に上りますが、夕張においては1602名の子供が罹患し、127名の死亡、830名に及ぶ四肢体幹の麻痺患者を生んだのです。写真は当時の夕張の住宅ですが、上下水道の共有や生活空間の密着度などは蔓延の温床だったのかも知れません。

1960年の夕張の大流行は冬場に差し掛かり勢いは衰えましたが、翌年1961年は九州での大流行の兆しがありました。国民の危機感は極度に高まり、これを受けて時の古井厚生大臣は経口性ワクチンの緊急輸入と全国一斉接種を決断しました。カナダ産シロップ状生ワクチン300万人分、ソ連産ボンボン状生ワクチン1000万人分が7月21日より1300万人に接種されました。

結果は劇的でした。流行は阻止され、従来の流行期である8月に入りても目に見えて患者の発生は減り、その年のポリオ患者は2436名に止まり、翌年の1962年には63名、数年のように患者の発生はほとんどなくなってしまいました。1963年から独自の日本製ワクチンが開発されて使用され始めました。1944年アメリカでの絶滅宣言、2000年の西太平洋アジア地区での絶滅宣言、2002年のヨーロッパの絶滅宣言は有名な事実であります。

また、一方では、まさに数10年前の私たちと同じ境遇にいる子供たちが世界のどこかにまだいることに鑑み、私たちは先人の方々に感謝を込めて、おのずからやらなければならぬことがあるのではないかと、そう思いました。

「ポリオとその撲滅のために」2



奥 周盛 2008-09RI第2500地区ガバナー補佐
国際ロータリー (RI) は、1985年にロータリー創始80周年にあたり、ポリオ・プラス計画を発表し、世界規模でポリオ撲滅活動を開始しました。この計画は、1982年2月のRI理事会決議に基づき、ロータリー創始100年を迎える2005年までに、全世界の児童をポリオから守る免疫接種を完了させることを目標としていました。1985年は、国連が40周年記念事業として、ユニセフの「予防接種普及事業」推進を決議した都市であり、NGOとして参加していたロータリーもこれに賛同し、署名しました。1988年、世界保健機関加盟169カ国が世界保健総会でポリオ撲滅の決議をした時に、RIと世界保健機関、米国疾病対策センター、ユニセフが協同して「世界ポリオ撲滅推進計画」が発足しました。これは現在も全世界のポリオ撲滅活動を主導しています。2002-2003年度、RIはロータリー創始100周年までにポリオ撲滅を実現しようと、「約束を守ろう、ポリオをなくそう」というスローガンをかか

げて募金キャンペーンを実施しました。それ迄のポリオ撲滅活動により、ポリオ感染者は残り1%という段階まで成果をあげていましたが、2005年6月も100周年シカゴ国際大会で100%撲滅宣言はできませんでした。2007年11月に、大きな転機が訪れました。RIはゲイツ財団と協同して、ポリオ撲滅の為に2億ドルを寄付することになりました。これは、ゲイツ財団がロータリー財団に対して、1億ドルのチャレンジ補助金を提供し、これに応えてロータリーが同額を組み合わせるという募金活動を開始しました。2009年1月に開催されたRI国際協議会に出席したビル・ゲイツ氏は、ゲイツ財団が補助金2億5,500万ドルを追加し、前回と合わせて3億5,500万ドルをロータリーに贈ることを表明しました。この増額に応えるために、ロータリーもさらに1億ドル追加することを承認し、2012年6月30日を期限とする「2億ドルのチャレンジ」として現在募金活動が実施されています。1985年に開始されたポリオ・プラス計画を通じて、100万人以上のロータリークラブ会員が122カ国においてボランティア活動をしたり、資金提供して、20億人以上の子供たちにポリオの予防接種を行ってきました。この20年以上におよぶポリオ撲滅活動により、ポリオの症例数は99%減少し、大きな成果を上げてきました。2009年7月15日現在、ポリオ感染者は642人、常在国は、インド、ナイジェリア、パキスタン、アフガニスタンの4カ国です。ポリオ撲滅はロータリーの最優先項目であり、100%撲滅宣言を出す日まで、ロータリーとポリオとの戦いが続きます。

……End Polio Now (今こそポリオ撲滅のとき)

■会長報告



清水 茂彰 会長

みなさん今日は、前回もお話し致しましたが、10月は米山、職業奉仕月間が続いております。本日の例会は、職業奉仕委員会が担当して、「ポリオとその撲滅のために」というテーマですので、職業奉仕委員会がポリオ？なのかと疑問に思うかもしれませんので、少し説明しますと、過去には人間尊重委員会とかポリオプラス委員会がありまして、独自の活動をしておりましたが、現在は職業奉仕委員会の中に含まれておりますので、今回の担当という事になります。又、健康診断は人間尊重委員会の事業ということになります。

社会倫理、企業倫理が色々と問題となる事が多い様に思いますが、私達ロータリアンは職業奉仕という、企業を通して地域社会に貢献するという奉仕理念を考え行動して行くべきだろうと思っています。又、ロータリー情報集会が始まりました。その中で、(1)退会防止、会員増強について(2)印象に残る例会はなんですか？といったテーマでした。私に意見を求められた時、何にも言わない様に気をつけていましたが、決められたかのごときの話は出来ませんので、決めつけた話はしませんでしたが、おののが好きに話す様になりましたので良かったかなと思っています。今後の報告書をたのみにしている所です。

社会情勢とか経済状況とか色々と変化のある中ではあります、ロータリアンのお互いにお互いを助け合う精神は進めたいきたいものです。ありがとうございました。

■会務報告

渡辺喜代美 幹事

(1)帯広北RC、夜間移動例会開催のご案内

日 時 平成21年10月23日 (金) 午後6時30分

場 所 弁慶九丁目店

(2)帯広東RC、移動例会開催のご案内

日 時 平成21年10月27日 (火) 午後0時30分

場 所 帯広トヨペット マイカーランドツイング (西22条南1丁目)

(3)帯広西RC、夜間例会開催のご案内

日 時 平成21年10月29日 (木) 午後6時30分

場 所 北海道ホテル

(4)帯広北RC、10月30日 (金) の例会は休会と致します。

・米山記念奨学委員会



米山功労者感謝状 渡辺喜代美 会員

・ロータリー財団委員会

ポールハリスフェロー感謝状

佐藤 幸宏 会員

中森 保 出席副委員長

10月21日例会 会員総数97名 (内免除会員9名) 出席者数60名

10月7日例会のメーカアップを含む出席者数及び出席率 71名80.6%

・ニコニコ献金

安岡美樹夫 親睦活動委員

佐藤 幸宏 会員

本日の卓話を担当させていただきます。

野村 文吾 会員

本日例会「ポリオとその撲滅のために」を担当いたします。

よろしくお願ひいたします。

加藤 維利 会員

昨日の情報集会でのみすぎました。二日酔いです。

中田 隆三 会員

連続十回の第十回目。やっと無事連続十回終わらせて頂きました。

渡辺喜代美 会員

皆さまのおかげで無事、地区米山奨学委員長退任させていただきました。ありがとうございました。

讃岐 武史 会員

この度、学校法人中央大学の商議員を拝命し、大学の運営のお手伝いをする事になりました。任期は11月1日から4年間です。今後とも「十勝おびひろ」の子弟の為に尽くしたいと思いますので、よろしくご支援下さい。

■配偶者誕生日祝い

櫻井顕一郎 会員 野村 文吾 会員

■結婚祝い

西沢 功晋 会員

■次週プログラム予定

10月28日 (プログラム委員会)

「ロータリアンとして51年を振り返り」

パストガバナー 田中 弘 会員



例会日／水曜日 12:30～13:30 例会会場／ホテル日航ノースランド帯広 TEL0155-24-1234

●創立／昭和10年3月15日 ●認証番号／3820 ●戦後再開／昭和25年12月19日

事務局／帯広市西3条南9丁目 経済センタービル4F TEL0155-25-7347 FAX0155-28-6033

●発行／クラブ広報 ●委員長／佐藤 真康・倉野 賢・島田 哲男・進藤 敦史・園尾 真一

竹川 博之・梅安 雅満・薦井 秀則・中島 一晃・新田 潔

●ホームページアドレス／<http://www.obihiro-rc.co.jp>

↑携帯サイトが
できました。
バーコードリーダーで読み込む
事ができます。

